



ハイブリッド | 参加費無料

京都大学桂キャンパス桂ホールまたは オンライン

2023.11.21 TUE 13:00

第4回光量子センシングワークショップ

～ 可視光検出器で赤外分光？ その基礎と最前線 ～

オープニングトーク

「光量子センシングの進展とコンソーシアムの紹介」 竹内 繁樹(京都大学)

光量子センシングの最前線 I

「中赤外光子検出に向けた超伝導ナノワイヤ単一光子検出器の開発」 寺井 弘高(情報通信研究機構)

「赤外上方変換の拓く新しい世界」 田中 耕一郎(京都大学)

「量子もつれ光を発生させる非線形光学素子」 徳田 勝彦(島津製作所)

光量子センシングの最前線 II

「分子の「指紋」を見分ける遠赤外量子分光」 向井 佑(京都大学)

「新開発の広帯域量子もつれ光源を用いた量子赤外分光」 田嶋 俊之(京都大学)

「媒質を通しても劣化がない断面画像が撮れる高分解能量子OCT」 阿部 尚文(京都大学)

量子技術を利用した計測・センシング技術は近年大きな注目を集めています。2018年に始まった文部科学省による「光・量子飛躍フラッグシッププログラム(Q-LEAP)」の基礎基盤研究グループの活動の一環として、産業界や大学等の若手研究者・技術者をはじめ幅広く光量子センシングに理解を持って頂くために本ワークショップを毎年実施しています。第4回目となる今回は、「可視光検出器で赤外分光？ その基礎と最前線」のテーマで、量子赤外分光など量子もつれ光を利用した量子計測に関する研究を紹介いたします。ご参加を検討いただければ幸いです。

主催 京都大学大学院 工学研究科 電子工学専攻 応用量子物性分野、京都大学 光量子センシング研究拠点

共催 京都大学産官学連携本部、京都大学オープンイノベーション機構、京都大学学術研究展開センター、京都大学大学院工学研究科、京都大学光量子センシング社会実装コンソーシアム、京都大学卓越大学院プログラム 先端光・電子デバイス創成学、京都大学 未来を創る先端量子技術フェローシップ、株式会社 TLO 京都、公益財団法人 京都高度技術研究所 (予定)

後援 公益社団法人 応用物理学会、公益社団法人 日本分光学会、一般社団法人 日本赤外線学会、一般社団法人 日本光学会 (予定)

連絡先：京都大学 光量子センシング研究拠点 加賀田 075-383-2289 Email: ku-qleap-ws@qip.kuee.kyoto-u.ac.jp

締切：11.17 FRI

定員：80名(現地)、300名(オンライン)程度 定員になり次第、申し込みを締め切ります。



〔イベント詳細と申込み〕 <https://photonsensing.org/irqas/workshop/seminar04.html>